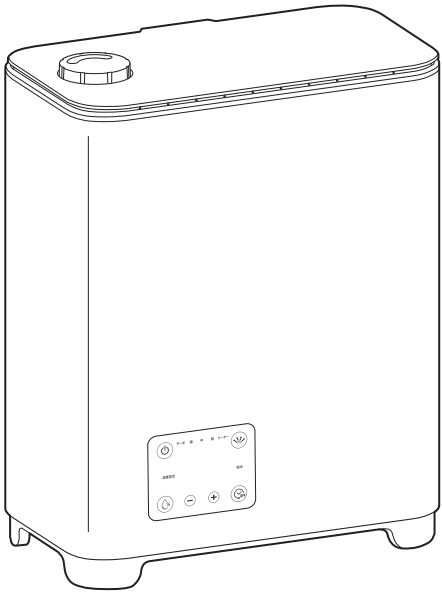
KOIZUMI

家庭用　日本国内専用 Use only in Japan

ハイブリッド加湿器　KHM-5061

取扱説明書（保証書付）

ご使用前に必ずお読みください。



目　次

安全上のご注意……1〜3
ご使用にあたってのお願い ……4
適した設置場所……5
知っておいていただきたいこと……6
各部のなまえ……7〜8
抗菌カートリッジについて ……8
吹出口・吹出ノズルについて ……9〜10
ご使用前の準備……11〜13
正しい使いかた……14〜18
排水のしかた……19
お手入れのしかた……20〜22
故障かな?と思ったら ……23
保管のしかた……24
仕様 ……24
消耗部品について……24
アフターサービスについて ……25
お客様の個人情報のお取り扱いについて ……25
保証・無料修理規定……26
保証書 ……27
お客様相談窓口……27

このたびは、コイズミ ハイブリッド加湿器をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。正しくご使用いただくために、ご使用前に必ずこの取扱説明書をよくお読みください。
なお、この取扱説明書には保証書が付いています。お読みになった後は、大切に保管してください。

●特に１～ ５ページの「安全上のご注意」「ご使用にあたってのお願い」「適した設置場所」を必ずお読みください。

小泉成器株式会社

安全上のご注意

＊ご使用の前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しくお使いください。
＊ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、お使いになる方や他の人への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすると生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

⚠ 警告	誤った取り扱いをしたときに、死亡または重傷を負う可能性があるもの
⚠ 注意	誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負ったり、物的損害の可能性があるもの

絵表示の例

は、してはいけない **「禁止」**の内容です	一般的な禁止　分解禁止　水ぬれ禁止 ぬれ手禁止　接触禁止
は、必ず実行していただく **「強制」**の内容です	必ず行う　電源プラグを抜く

※お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる場所に必ず保管してください。

⚠ 警告

電源コードを傷付けたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったり、束ねて使用したりしない。また、重い物を載せたり、はさみ込んだり、ハイブリッド加湿器の下を通したり、高温部に近づけたりしない。
電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

タンクや水槽部のお手入れに塩素系・酸性タイプの洗浄剤は使用しない。
タンクの割れ・故障・残った洗浄剤による有毒ガス発生の原因となります。

乳幼児の手の届く範囲で使用しない。
感電・けがの原因となります。

梱包材を子供の手の届く場所に置かない。
口や鼻をふさいだり、口に入れるなどして窒息する恐れがあります。

AC100V以外では使用しない。（日本国内専用）
火災・感電の原因となります。

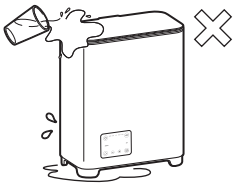
電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいときは使用しない。
感電・ショート・発火の原因となります。

送風口や吸気口、吹出口、本体のすき間にピンや針金などの異物を入れない。
故障・感電・けがの原因となります。

改造はしない。また、修理技術者以外の人は、分解したり修理をしない。
火災・感電・けがの原因となります。修理はお買い上げの販売店または、小泉成器株式会社「お客様相談窓口」にご相談ください。

⚠ 警告

水につけたり、水をかけたりしない。
ショート・感電・発火の原因となります。



ぬれた手で、電源プラグを抜き差ししない。
感電・ショート・発火の原因となります。

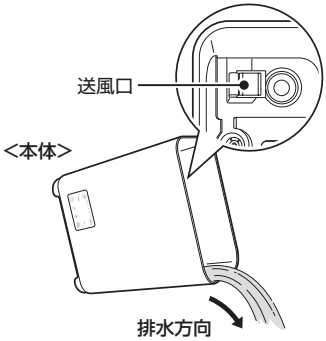
発熱器具の近くに置かない。
樹脂部分が溶けて引火する原因となります。

電源プラグは清潔にする。刃および刃の取付面にほこりが付着している場合は拭き取る。
ショート・火災の原因となります。

電源プラグは根元まで確実に差し込む。
感電・ショート・発煙・発火の恐れがあります。

乳幼児が誤って電源プラグをなめないように注意する。
感電・けがの原因となります。

必ず排水方向から排水する。
排水方向を誤ると、本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショート・故障の原因となります。
・排水時、電源プラグをコンセントから抜いてください。
・排水時、送風口から水が入らないよう注意してください。
・排水のしかたは19ページを参照してください。



排水やお手入れの際は、電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
ショート・感電・けがの原因となります。

異常時（こげくさい臭いなど）は、運転を停止して電源プラグをコンセントから抜く。
そのまま運転を続けると火災・感電の原因となります。運転を停止してお買い上げの販売店または、小泉成器株式会社「お客様相談窓口」にご相談ください。

タンク・送風口カバー・フタ・吹出口をはずしたまま運転しない。
水が飛び散り床をぬらしたり、故障の原因となります。

水道水（飲用）以外は使用しない。アロマオイル・芳香剤・香水・温水（40℃以上）・洗剤・化学薬品・酸性水・浄水器の水・ミネラルウォーター・井戸水などは、タンクや本体に絶対に入れない。
変形・故障・カビや雑菌の繁殖の原因となります。

安全上のご注意

⚠ 注意

不安定な場所には置かない。
水がこぼれて床をぬらしたり、送風口から水が入り故障・水漏れの原因となります。

使用中は本体を動かしたり移動させない。
水がこぼれて床をぬらしたり、送風口から水が入り故障・水漏れの原因となります。

吹出口に指を入れない。
けがの原因となります。

直接水槽部に給水をしない。
ショート・感電・故障・水漏れの原因となります。

本体やタンクを落としたり、ぶつけたりしない。
本体やタンクにヒビが入るなど破損して、水漏れなどの故障の原因となります。

本体に乗ったり、腰掛けたりしない。
けが・故障の原因となります。

業務用として使用しない。また、不特定多数の人が使用する場所に置かない。
連続過負荷による故障の恐れがあります。

タンクの“MAX”表示面より上に水を入れない。
水漏れ・故障の原因となります。

タンクを取り付ける際は、タンクの抜き差しを繰り返さない。
本体の水槽部の水位が上昇し、霧が出なくなったり、水漏れ・故障の原因となります。

お手入れの際は、シンナー・ベンジン・ミガキ粉・たわしなどを使用しない。
故障・破損・変色の原因となります。

振動子に直接触れたり、強く押したりしない。また、振動子の表面を金属ブラシ・金属ヘラ・研磨剤入りのたわし・ミガキ粉などで絶対にこすらない。
変形したり傷が付くと霧が出にくくなったり、故障の原因となります。

使用中はフタやタンクに手をふれない。
誤動作して、故障・水漏れ・変形の原因となります。

使用直後はヒーターに触れない。
やけどの原因となります。

使用時以外は、必ず電源を切り、電源プラグをコンセントから抜く。
故障の原因となります。

電源プラグをコンセントから抜くときは、電源コードを持たずに、必ず電源プラグを持って抜く。
ショート・感電・発火の原因となります。

移動するときは運転を停止し、タンクや水槽部の水を捨てる。
水がこぼれて家財などをぬらしたり、送風口に水が入り故障の原因となります。

タンクや水槽部は、常に清潔にする。
・タンクの水は毎日新しい水道水と入れ替えてください。
・ご使用にならないときは、タンクや水槽部に残った水を排水してください。
・タンクや水槽部は、定期的にお手入れしてください。汚れや水あかでカビや雑菌が繁殖すると、悪臭、および体質により、まれに健康を害する原因となります。

ご使用にあたってのお願い

■故障などを防ぐために、必ずお守りください

使用前

●水道水を使用する

アロマオイル・香水・芳香剤・温水（40℃以上）・洗剤・化学薬品・酸性水・アルカリ水・ミネラルウォーター・井戸水をタンクや本体に入れないでください。

●本体水槽部に直接水を入れない

水が必要以上に供給され、霧が出なくなったり故障の原因となります。

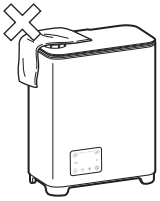
●タンクの“MAX”表示面より上に水を入れない

水漏れ・故障の原因となります。

使用中

●吹出口をふさがない

カーテンやタオルなどで吹出口をふさぐと、水漏れや異常過熱で変形・故障の原因となります。



●本体やタンクを落としたり、ぶつけたり衝撃を与えない

本体やタンクにヒビが入るなどの破損をして水漏れの原因となります。

●タンク・送風口カバー・フタ・吹出口をはずして使用したり、加湿以外の用途には使用しない

床をぬらしたり、故障・けがなどの原因となります。

●使用中はフタやタンクに手を触れない

使用中、フタをはずしたり、タンクを動かすと、水が必要以上に供給され、霧が出なくなったり故障の原因となります。
誤って上記の内容を行った場合、本体水槽部に溜まっている水をすべて排水してから、もう一度セットしてください。

●加湿しすぎない

加湿しすぎると周囲をぬらしたり、故障の原因となります。

●凍結に注意する

凍結の恐れがあるときはタンクや水槽部の水を捨ててください。
凍結すると故障の原因となります。



使用後

●タンクや水槽部のお手入れをこまめに行う

お手入れをしないで使い続けると、水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖・悪臭発生の原因となります。

●保管時は、排水してよく水分を拭き取る

水分が残ったまま長期間保管すると、水あかやごみなどで汚れ、性能が低下したりカビなどの繁殖・悪臭発生の原因となります。

適した設置場所

ご使用の環境（温度/湿度）条件により、霧に含まれる水分が周辺に付着することがあります。
設置の際、以下の注意をよくお読みになり正しくお使いください。

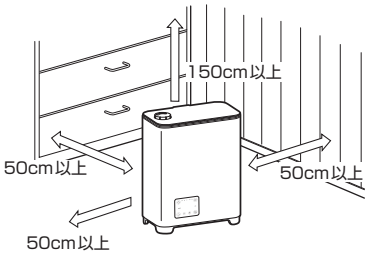
■適した設置場所

●壁やカーテン、家具などから50cm以上、天井から150cm以上離して設置してください。

●エアコンの送風が吹出口に当たらない場所に設置してください。
床面をぬらす恐れがあります。

●周辺に、吹出口から出る霧をさえぎる物や、湿気に弱い物がないことを確認してください。

●安定した場所に水平に設置してください。



■次の場所では使用しないでください

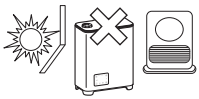
●パソコンやテレビ、音響機器、精密機械（携帯電話など）の上や近く
機器に水分や白粉※が付着して、故障の原因となります。
誤って倒したり、誤った使いかたで水漏れをしてぬれることがあります。

●壁やカーテン、家具、ふすま、障子、ポスターなど、吹出口から出る霧が直接当たる場所、およびその近く
ぬれてシミになったり、霧に含まれる白粉※が付着することがあります。



※白粉について
霧の蒸発に伴ない、機器の周辺に白い粒状のものが残ることがあります。これは、発生する霧（水道水）に含まれるカルシウムやマグネシウムなどのミネラル分です。有害なものではありませんが、テレビや家具などに付着することがあります。付着したときはやわらかい布などで早めに拭き取ってください。

●直射日光が当たる場所や暖房機の上または近く
変形・変色したり、誤動作することがあります。



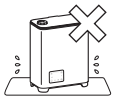
●湿度の高い場所
周囲をぬらしたり、故障の原因となります。



●人がよく通る場所
ぶつかったり、電源コードに引っかかると、本体が倒れて水がこぼれたり、故障の原因となります。



●カーペットやふとんなどの上
不安定な場所に置くと水がこぼれたり誤動作・故障の原因となります。
また、本体底面の吸気口が塞がれて霧が出にくくなったり、故障の原因となります。



●ベット脇など就寝中に手が届く場所
誤って倒してしまい、周囲をぬらすことがあります。

知っておいていただきたいこと

●加湿方式について

本機は、超音波の振動で水を細かな霧状にして噴霧します。
また、ヒーター設定を［ON］にすると、本体内部のヒーターで水を加熱するので、霧がより出やすくなります。

※ヒーターで加熱された霧が噴霧されますが、暖房器具のようにお部屋をあたためるものではありません。

●湿度の表示について

本機は本体内部の湿度センサーで測った湿度を表示します。
急激な湿度変化や設置状況などにより、ご家庭の湿度計と本機が表示する湿度に差が出る場合があります。

●湿度設定後の運転について

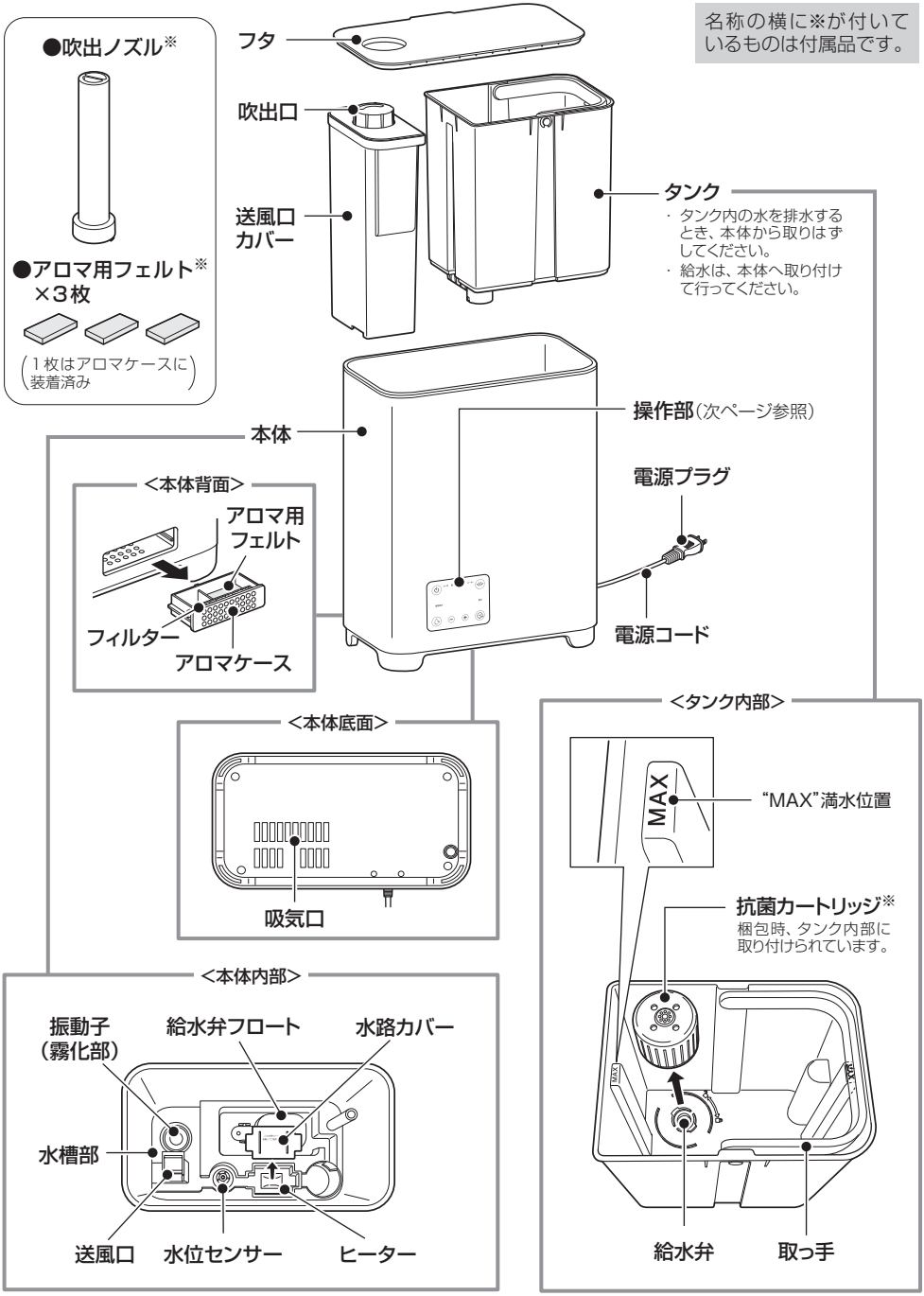
周辺の湿度が設定湿度以上になると、霧の吹き出しを自動的に停止し待機状態になります。
（加湿を停止していてもファンモーターが動作していることがありますが異常ではありません。）
周辺の湿度が設定湿度より低くなったとき、霧の吹き出しを自動的に再開します。

●ディスプレイの明るさについて

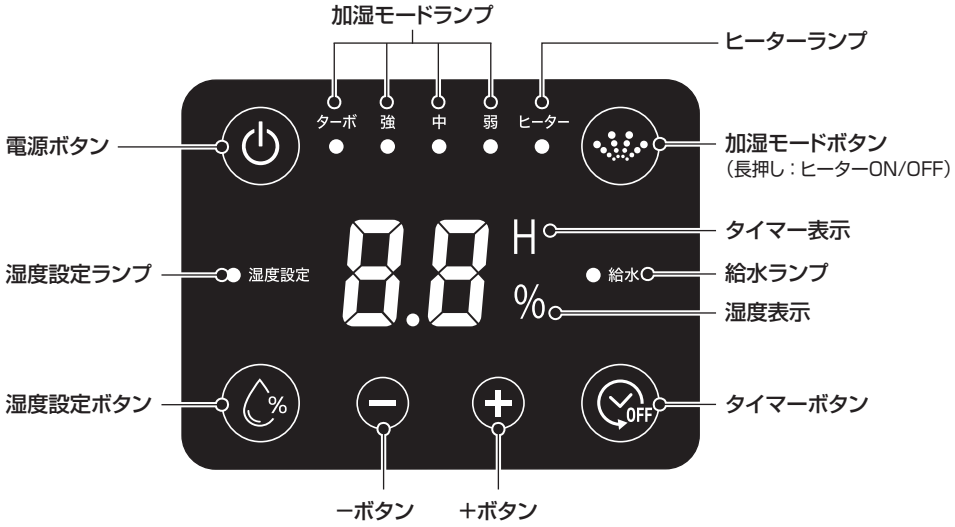
無操作状態で約30秒経過すると、ディスプレイは暗くなります。

各部のなまえ

名称の横に※が付いているものは付属品です。



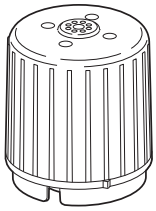
操作部



抗菌カートリッジについて

●抗菌カートリッジはタンクや水槽部内の水を抗菌するものです。
抗菌カートリッジの成分が溶け出して、水槽部の水が白くにごることがありますが、異常ではありません。

●抗菌カートリッジは消耗部品です。
交換時期の目安は使いはじめから約１年間※です。
※使用頻度により異なります。汚れやにおいが気になったら交換してください。
（24ページ「消耗部品について」参照）



お願い

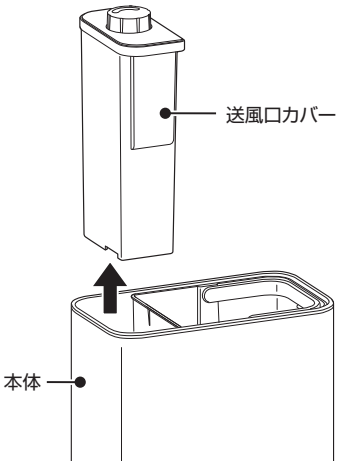
●抗菌カートリッジを分解しないでください。

吹出口・吹出ノズルについて

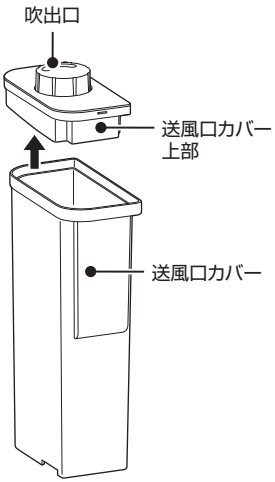
●吹出口を付属の吹出ノズルに付け替えて霧の吹き出し位置を高くすることで、床などでご使用の際、周囲をぬれにくくすることができます。

付け替えかた

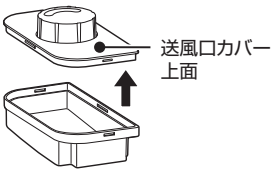
①送風口カバーを本体からはずします。



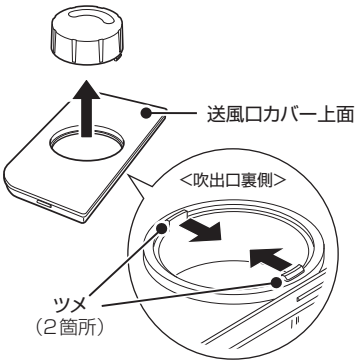
②吹出口を引っ張って、送風口カバー上部を取りはずします。



③送風口カバー上部から上面を取りはずします。

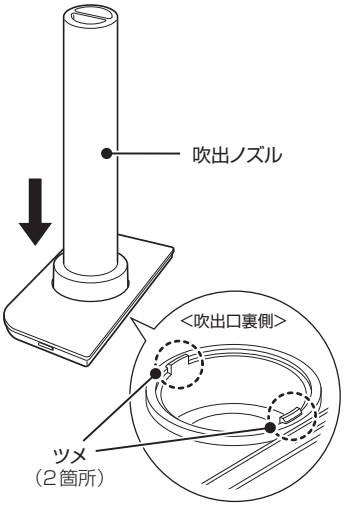


④吹出口裏側のツメ（2箇所）を押し込んで、吹出口を送風口カバー上面から取りはずします。

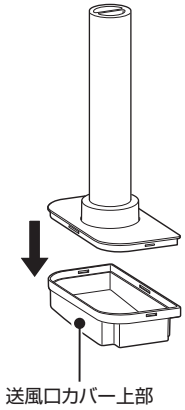


⑤吹出ノズルを送風口カバー上面にカチッと鳴るまで押し込みます。

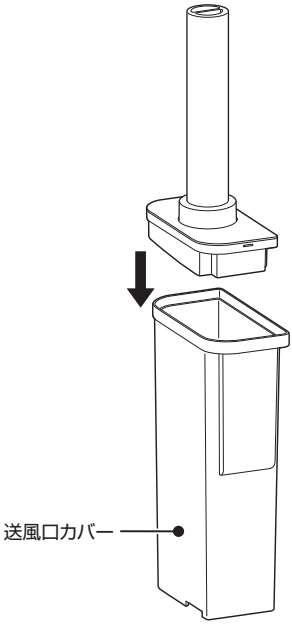
※裏側のツメ（2箇所）がはめ込まれていることを確認してください。



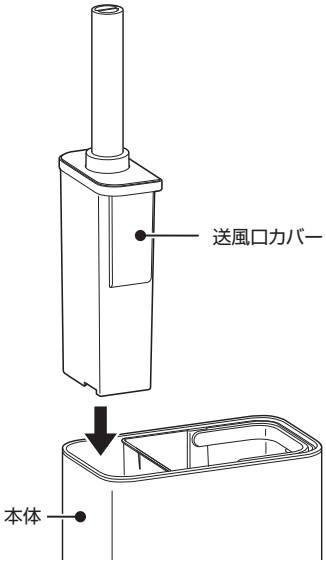
⑥吹出口ノズルを取り付けた送風口カバー上面を送風口カバー上部にはめます。



⑦送風口カバー上部を送風口カバーにしっかりはめ込みます。



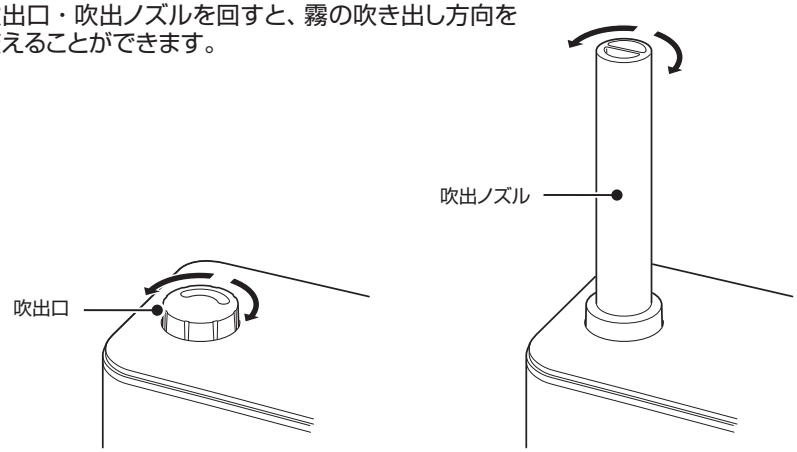
⑧送風口カバーを本体に取り付けます。



⚠ 注 意

●フタ・吹出口をはずしたまま運転しない。
水が飛び散り床をぬらしたり、故障の原因となります。

●吹出口・吹出ノズルを回すと、霧の吹き出し方向を変えることができます。

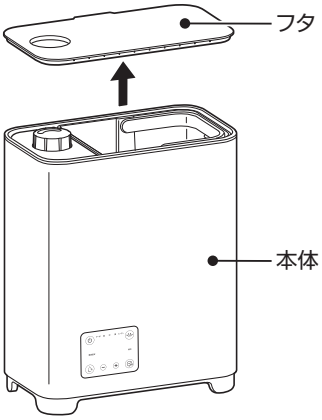


ご使用前の準備

1. フタを本体からはずします。

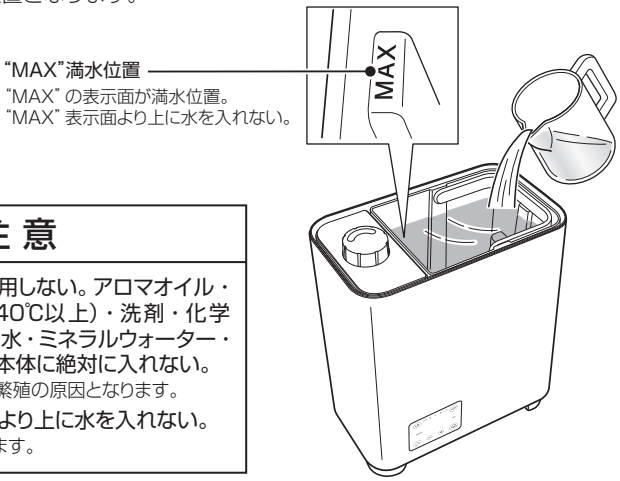
お願い

●運転後に給水する場合、フタを本体からはずすと、水滴がこぼれることがあります。
タオルなどを準備し、本体や床がぬれないように注意してください。



2. 水差しなどでタンクに水道水（飲用）を入れます。

・ “MAX” の表示面が満水位置となります。



⚠ 注 意

●水道水（飲用）以外は使用しない。アロマオイル・芳香剤・香水・温水（40℃以上）・洗剤・化学薬品・酸性水・浄水器の水・ミネラルウォーター・井戸水などは、タンクや本体に絶対に入れない。
変形・故障・カビや雑菌の繁殖の原因となります。

●タンクの “MAX” 表示面より上に水を入れない。
水漏れ・故障の原因となります。

お願い

●タンクに水を入れた後、タンクが浮いたり傾いたりしていないことを確認してください。

●加湿運転時間について
満水で約８時間の連続加湿運転ができます。（強運転／室内温度が20℃の場合）

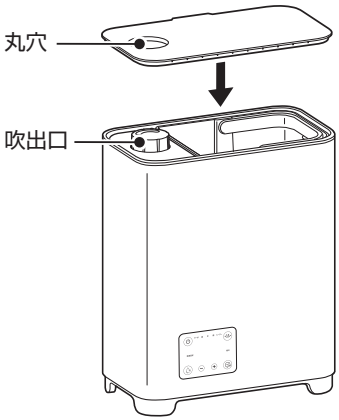
お知らせ

●水をタンクに入れると、水槽部に水が流れ込み、水位センサーで水が検知されると運転が可能となります。水を入れた直後、水位センサーまで水が到達していない場合、電源ボタンを押しても運転を開始しないことがあります。水を入れてから約30秒後に電源ボタンを押してください。

⚠ 注 意
●排水後、タンクを取り付ける際は、タンクの抜き差しを繰り返さない。 本体の水槽部の水位が上昇し、霧が出なくなったり、水漏れ・故障の原因となります。

3. フタを本体に取り付けます。

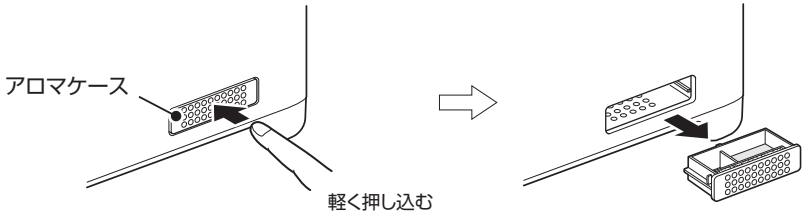
・ フタの丸穴が吹出口に合うように取り付けてください。



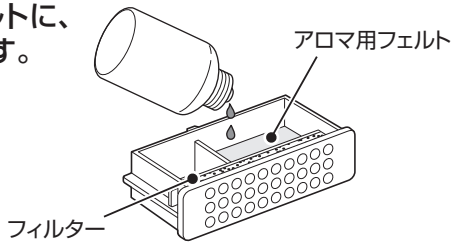
■お好みでアロマオイルを使用する

※本製品にアロマオイルは付属していません。
アロマオイルをご使用になる場合は、市販のものを別途お買い求めください。

①電源が切れていることを確認し、本体背面のアロマケースを取りはずします。



②アロマケース内のアロマ用フェルトに、アロマオイルを数滴染み込ませます。



※フィルターは、アロマケースにほこりなどが入るのを防ぐためのものですので、取りはずさないでください。

③アロマケースを取り付けます。

⚠ 注 意

- ●タンクや本体にはアロマオイルやアロマウォーターを絶対に入れないでください。
  破損などの原因となります。
- ●アロマオイルが本体に付着したらすぐに拭き取ってください。
  本体が破損する恐れがあります。
- ●アロマケースにアロマオイルを入れるときは、必ずアロマケースを本体からはずしてください。
- ●アロマオイルは必ずアロマケース内のアロマ用フェルトに染みこませてお使いください。

●アロマオイルについて

- ・アロマオイルは天然抽出物（100%）をお使いください。
- ・アロマオイルの取扱説明書をよく読んでからお使いください。
- ・アロマオイルの使いすぎにご注意ください。気分が悪くなったときは、使用を中止してください。
- ・アロマオイルの香りによってアレルギー症状が出た場合は、使用を中止して、医師にご相談ください。
- ・香水や合成香料などは入れないでください。

●アロマ用フェルト・フィルターは消耗部品です。
消耗したり、汚れが気になったら交換してください。（24ページ「消耗部品について」参照）

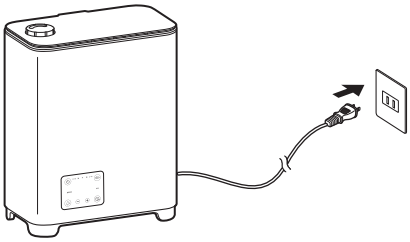
正しい使いかた

●タンクに水を入れるまでは運転しないでください。
●運転前に、タンク・フタ・吹出口が本体に確実に取り付けられていることを確認してください。

運転前に

電源プラグをコンセントに差し込みます。

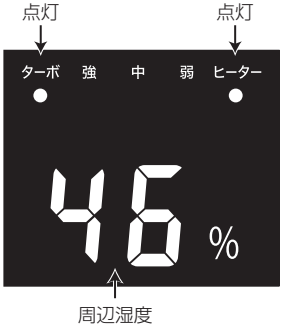
・「ピッ」と鳴ります。
・本体を傾けたり、倒したりしないでください。
水漏れや故障の原因となります。



運転を開始する

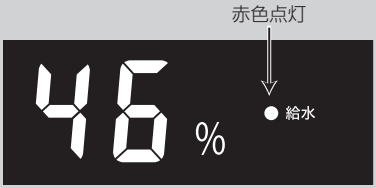
電源ボタン ⏻ を押します。

・「ピッ」と鳴ってディスプレイに周辺の湿度が表示され、加湿モード［ターボ］・ヒーター［ON］で運転を開始します。



■運転中に水がなくなったら

水がなくなると、**ブザーが「ピー」と3回鳴って給水ランプが赤色に点灯し、**自動で運転を停止します。



●続けてご使用になる場合は、11～12ページの「ご使用前の準備」を参照し、タンクに給水し、再度電源ボタンを押して運転を再開してください。
●水がなくなる直前に霧の吹き出しが不安定になることがありますが、故障ではありません。

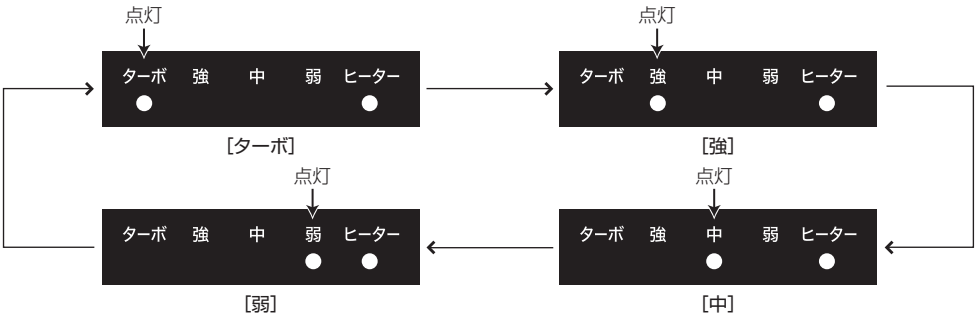
正しい使いかた

加湿モードを選ぶ

運転中に 加湿モードボタン を押します。

・ 加湿モードボタンを押すたびに「ピッ」と鳴り、加湿モードが切り替わります。

＜例：ヒーター［ON］時＞



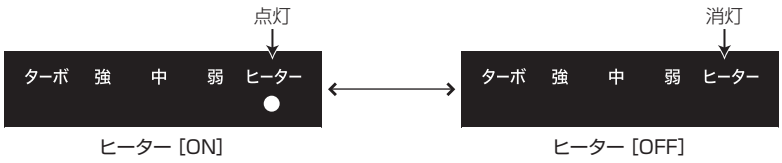
・ 加湿モードごとの加湿量の目安は右表のとおりです。

加湿モード	加湿量
ターボ	約500ml
強	約300ml
中	約200ml
弱	約100ml

ヒーター設定を切り替える

運転中に 加湿モードボタン を**3秒以上長押し**します。

・ 加湿モードボタンを3秒以上長押しするたびに「ピッ」と鳴り、ヒーターの［ON］と［OFF］が切り替わります。



目標湿度を設定する

・目標湿度を設定すると、自動的に加湿モードを切り替えて運転します。

① 運転中に 湿度設定ボタン (%) を押します。

・「ピッ」と鳴り、設定湿度［40%］が表示されます。

② ＋ボタン・－ボタン (＋)(－) で設定したい湿度を選びます。

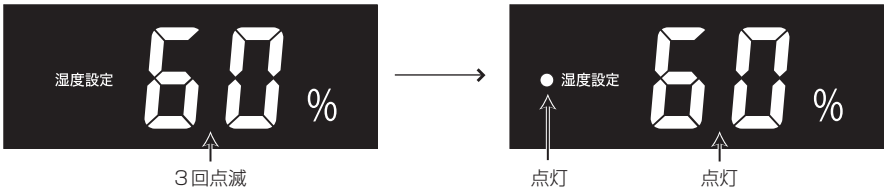
・＋ボタン・－ボタンを押すたびに「ピッ」と鳴り、設定湿度が10%単位で40%～ 70%の範囲で切り替わります。



設定湿度（40%～ 70%）を10%単位で表示

・設定したい湿度を選択後、ディスプレイの数字が3回点滅して湿度設定ランプが点灯すると、設定が確定されます。

＜例：湿度を60%に設定時＞



3回点滅　　点灯　　点灯

・湿度設定を解除するには、湿度設定ボタンを再度押すか加湿モードボタンを押す、または電源を切ってください。

・湿度を設定すると、下表の動作で運転します。

周辺湿度と設定湿度の差	加湿モード
20%以上離れているとき	［ターボ］で運転
15～20%以上離れているとき	［強］で運転
10～15%以上離れているとき	［中］で運転
5～10%以上離れているとき	［弱］で運転
設定湿度になったとき	動作停止

・周辺の湿度が設定湿度以上になると、湿度設定ランプが点滅し、霧の吹き出しを自動的に停止し待機状態になります。
（加湿を停止していてもファンモーターが動作していることがありますが異常ではありません。）
周辺の湿度が設定湿度より低くなったとき、霧の吹き出しを自動的に再開します。

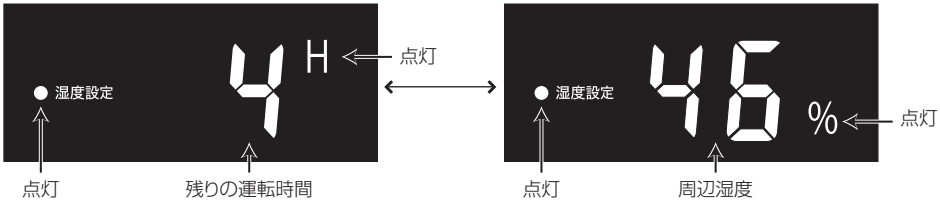
・湿度設定後は、ディスプレイに設定湿度ではなく、周辺湿度を表示します。

・湿度を設定し直したいときは、一度湿度設定を解除し、再度、上記の手順①②を行ってください。

お知らせ

- ●設定湿度は目安です。お部屋の湿度計と異なることがあります。
- ●湿度設定中に加湿モードを変更すると湿度設定が解除されます。
- ●設定した湿度になると自動的に霧の吹き出しを停止しますが、電源は切れません。使用しないときは、必ず電源ボタンを押して電源を切ってください。
- ●オフタイマーを設定すると、ディスプレイに周辺湿度と、残りの運転時間を交互に表示します。

<湿度とオフタイマー設定時の例>



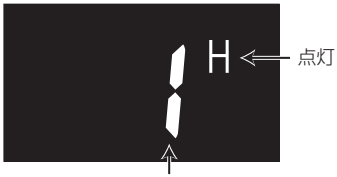
オフタイマーを設定する

① 運転中に タイマーボタン (OFF) を押します。

・「ピッ」と鳴り、設定時間［0H］が点滅します。

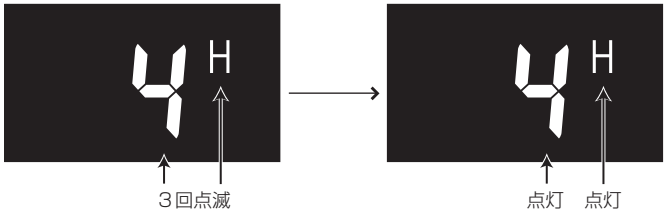
② ＋ボタン・－ボタン (+)(−) で設定したい時間を選びます。

・＋ボタン・－ボタンを押すたびに「ピッ」と鳴り、設定時間が１時間単位で１～６時間の範囲で切り替わります。

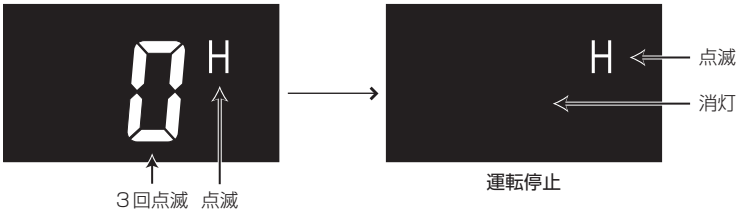


・設定したい時間を選択後、ディスプレイの数字が３回点滅して点灯すると、設定が確定されます。

＜例：４時間後に設定時＞



・オフタイマー設定後は、ディスプレイに周辺湿度と残りの運転時間（1時間単位）を交互に表示します。オフタイマーの設定時間が経過すると、「ピー」と3回鳴ってディスプレイの［H］が点滅し、自動的に運転を停止します。



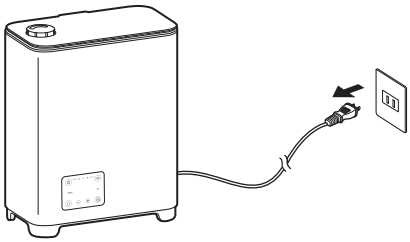
・オフタイマーを解除するには、オフタイマーボタンを押して［0H］に合わせるか、電源を切ってください。

運転を停止する

①電源ボタン ⏻ を押します。

・「ピーッ」と鳴ってディスプレイが消灯し、運転を停止します。

②電源プラグをコンセントから抜きます。



排水のしかた

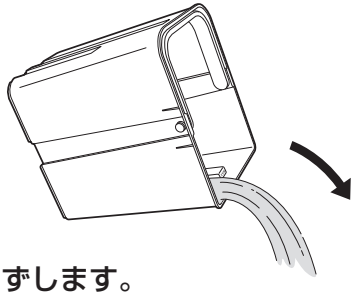
1. 電源を切り、電源プラグをコンセントから抜きます。

お願い ●排水時に本体側面を水が伝ってこぼれることがありますので注意してください。
●排水時にはタオルなどを準備し、本体や床がぬれないように注意してください。

2. フタを本体からはずし、タンクを本体からはずします。

・ タンクは取っ手を持って、垂直にはずしてください。

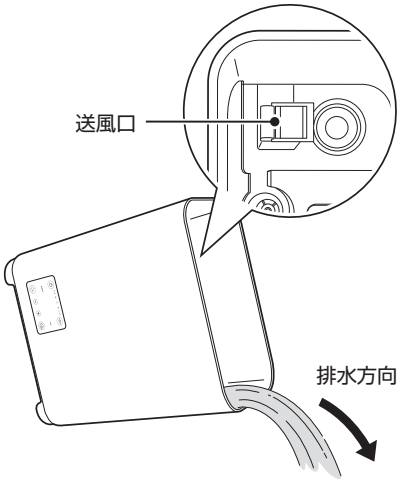
3. タンクの水を排水します。



4. 送風口カバーを本体からはずします。

5. 下図のように本体を排水方向にかたむけて排水します。

・排水後、本体に付着した水分は柔らかい布で拭き取ってください。



⚠ 警 告

●必ず排水方向から排水する。
排水方向を誤ると、送風口から本体内部の電気部品に水が入り、火災・感電・ショート・故障の原因となります。
排水時など送風口から水が入らないように十分注意してください。

お手入れのしかた

●ご使用にならないときは、タンクや水槽部の水を排水してください。
●使用後、ヒーターは熱くなっていますので、冷めてからお手入れしてください。

⚠ 警 告

●お手入れの際は、必ず電源を切って電源プラグをコンセントから抜く。
ショート・感電・けがの原因となります。

⚠ 注 意

●お手入れの際は、シンナー・ベンジン・ミガキ粉・たわしなどを使用しない。
故障・破損・変色の原因となります。

■本体・水槽部

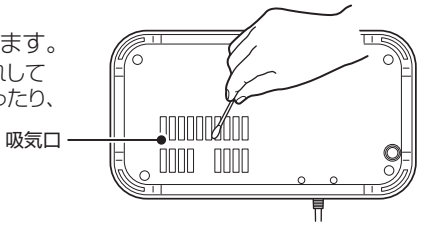
水を含ませた柔らかい布で汚れを拭き取ります。
・ 水槽部は１週間に１～２回以上の頻度でお手入れしてください。

■フタ・吹出口・吹出ノズル・送風口カバー

水洗いし、柔らかい布で拭き取ります。
・ 吹出口や吹出ノズルは送風口カバー上面から取りはずして（9ページ参照）お手入れしてください。

■吸気口

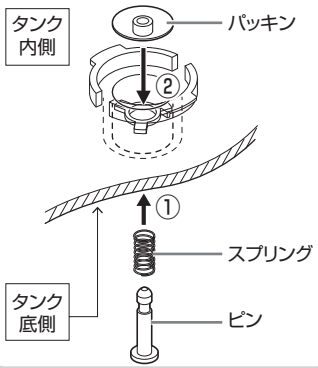
綿棒やお手持ちのブラシなどでほこりを取り除きます。
・吸気口にほこりがたまらないように定期的にお手入れしてください。吸気口にほこりがたまると霧が出にくくなったり、故障の原因となります。



■タンク

水洗いし、柔らかい布で拭き取ります。
・ タンクの洗浄は毎日行ってください。
・ タンクを落としたり、ぶつけたりしないように注意してください。
・ 温水（40℃以上）は使用しないでください。
・**給水弁は固定しているピンからはずさないでください。**

■給水弁のピンがはずれたときは
①ピンにスプリングを付けた状態で、タンクの底側から差し込みます。
②ピンをタンクの底側から押さえながら、タンクの内側からパッキンを取り付けます。



お手入れのしかた

■振動子（霧化部）・水位センサー・ヒーター

1週間に1～2回以上の頻度でお手入れしてください。

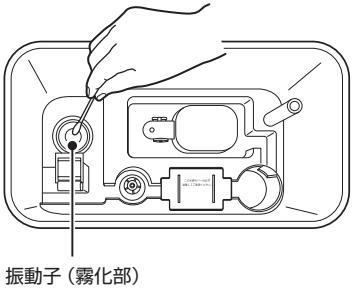
●振動子（霧化部）

綿棒などを軽く当てて汚れを落とした後、柔らかい布で拭き取ります。

⚠ 注 意

●振動子に直接触れたり、強く押したりしない。また、振動子の表面を金属ブラシ・金属ヘラ・研磨剤入りのたわし・ミガキ粉などで絶対にこすらない。

変形したり傷が付くと霧が出にくくなったり、故障の原因となります。



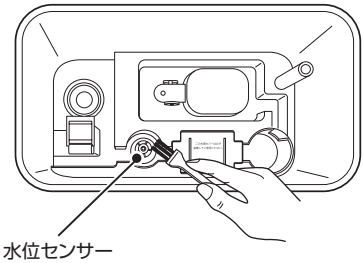
●水位センサー

水位センサーの周りに付着している汚れやゴミなどをお手持ちのブラシなどで落とした後、柔らかい布で拭き取ります。

お願い

●水位センサーは定期的にお手入れし、いつも清潔な状態にしてお使いください。

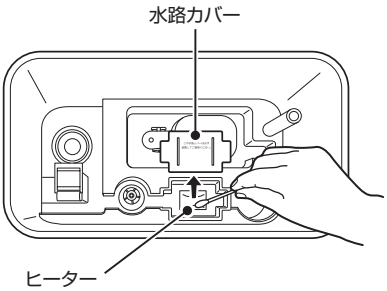
数日間お使いいただくと、水位センサーの周辺に水道水のミネラル成分が結晶（汚れ）となって付着してきます。このような状態のまま使い続けると、水位センサーが誤動作して振動子の故障の原因となります。



●ヒーター

水路カバーをはずして、綿棒などを軽く当てて汚れを落とした後、柔らかい布で拭き取ります。

・お手入れ後は必ず水路カバーを取り付けてください。

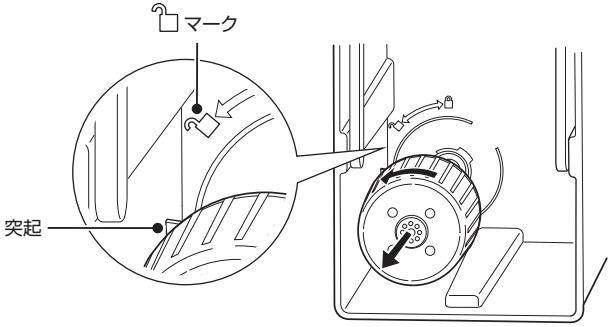


■抗菌カートリッジ

タンクから取りはずして流水で水洗いし、やわらかい布で汚れを拭き取ります。

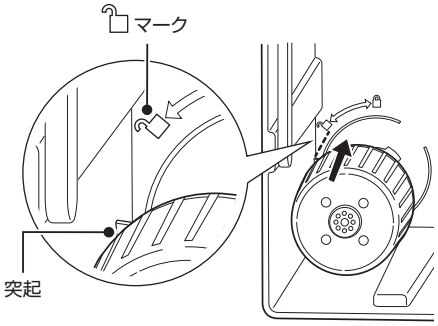
取りはずしかた

抗菌カートリッジの突起が マーク（ロック解除）に合うまで回して取りはずします。

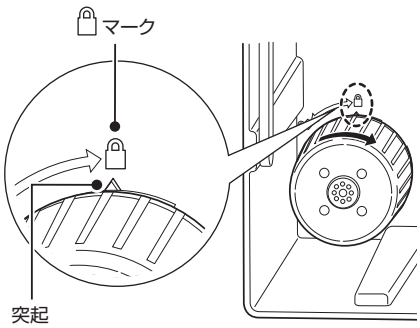


取り付けかた

①抗菌カートリッジの突起を マーク（ロック解除）に合わせて差し込みます。



②抗菌カートリッジの突起が マーク（ロック）に合うまで回します。



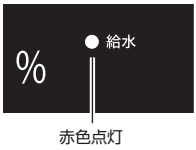
■アロマケース

本体からアロマケースを取りはずしてアロマ用フェルトを取り出し、中性洗剤などでよく洗い、やわらかい布で拭き取ります。残り香が気になるときは何回か繰り返してください。

・アロマケース、アロマ用フェルトは小さいのでなくさないようご注意ください。

故障かな？と思ったら

「故障かな?」と思ったときは、次の点をお調べください。

このようなとき	お調べいただくこと	処置のしかた	
霧が出ない	●電源プラグがコンセントにしっかり差し込まれていますか？	電源プラグを確実に差し込んでください。	14ページ
	●水がなくなっていませんか？	給水してください。	11～12ページ
	●湿度を設定していませんか？	設定湿度以上になると霧の吹出しを自動的に停止し待機状態になります。	16～17ページ
霧の出が悪い	●振動子の表面に水あかなどの汚れが付着していませんか？	振動子をお手入れしてください。	21ページ
	●本体底面の吸気口にほこりなどがたまっていませんか？	吸気口をお手入れしてください。	20ページ
	●カーペットなどの上に置いて、本体底面の吸気口を塞いでいませんか？	正しく設置してください。	5ページ
	●水を入れすぎていませんか？	給水は“MAX”の満水位置までにしてください。	11ページ
	●冬場など室温や水温が低い場合、霧が見えにくいことがあります。	40℃以下のぬるま湯を水タンクに入れてください。	—
	●室温・湿度・エアコンの気流などの使用環境により、霧が見えにくい場合があります。		—
水が漏れる 水が溢れる	●水を入れすぎていませんか？	給水は“MAX”の満水位置までにしてください。	11ページ
	●本体が傾いていませんか？	正しく設置してください。	5ページ
	●タンク・送風口カバー・フタ・吹出口が正しく取り付けられていますか？	正しく取り付けてください。	9～10、 11～12ページ
運転が 途中で止まる	●ブザーが「ピー」と3回鳴って給水ランプが赤色に点灯した場合は、水がなくなっています。  	給水してください。	11～12ページ
本体周辺が水でぬれる	●湿度が高い環境で使用した場合、過加湿となり本体周辺が水でぬれる場合があります。		5ページ
ブーンと音がする	●本体内部のファンが回転する音です。故障ではありません。		—
水槽部の水が白くにごる	●抗菌カートリッジの成分が溶け出して水が白くにごることがあります。故障ではありません。		—

保管のしかた

●お手入れした後、水分を拭き取り、よく陰干ししてください。
●よく陰干しした後、本体内やタンクなどに残り水がないことを確認してください。
●本体をポリ袋などで包み、元の梱包ケースなどに入れて、湿気の少ない場所に保管してください。

お願い

●お手入れして、水分をよく乾燥させてから保管してください。
　汚れや水分が残ったまま長期間保管すると悪臭やカビなどが発生する原因となります。

仕様

電源	AC100V　50/60Hz
消費電力	98W
外形寸法	約280（幅）× 160（奥行）× 355（高さ）mm （吹出ノズル取付時：約520（高さ）mm）
質量	約3.1kg
加湿量	ターボ：約500ml　強：約300ml　中：約200ml　弱：約100ml
電源コードの長さ	約1.6m
タンク容量	約4L
連続加湿時間	約8時間（ターボ運転時）
適用畳数（目安）	木造和室：8.5畳（14m²）プレハブ洋室：14畳（23m²）（ターボ運転時）
付属品	抗菌カートリッジ（タンク装着済み）、吹出ノズル、アロマ用フェルト3枚（内1枚は本体装着済み）

※加湿量・連続加湿時間・適用畳数は、満水・室温20℃の場合です。
※加湿量・連続加湿時間は、室温や温度環境、壁、床の材質、部屋の構造、使用している暖房機などの環境条件によって大幅に左右されますので目安としてください。
※本機の仕様および外観については、改良のため予告なく変更することがあります。

消耗部品について

消耗部品を依頼される場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

名　称	名　称
抗菌カートリッジ	KHM-103
アロマ用フェルト	KHM-300
フィルター	KHM-301

アフターサービスについて

1. 保証書

●この取扱説明書には保証書が付いています。

保証書はお買い上げの販売店で「販売店名・お買い上げ日」などの記入をご確認の上、内容をよくお読みの後、大切に保管してください。保証期間はお買い上げ日より1年間です。

2. 修理を依頼されるとき

●保証期間中は

商品に保証書を添えてお買い上げの販売店にご持参ください。保証の記載内容により無料修理いたします。

●保証期間が過ぎているときは

お買い上げの販売店にご相談ください。修理により使用できる場合は、お客様のご要望により有料修理いたします。

3. 補修用性能部品の保有期間

●ハイブリッド加湿器の補修用性能部品の保有期間は製造打切後６年です。

補修用性能部品とはその製品の機能を維持するために必要な部品です。

4. アフターサービスについてご不明の場合

●アフターサービスについてご不明の場合には、お買い上げの販売店か、小泉成器株式会社「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

愛情点検

★長年ご使用のハイブリッド加湿器の点検を!



このような症状はありませんか

- ●水漏れする。
- ●電源コードを動かすと、途中で止まる。
- ●運転中、異常に大きい音がしたり、激しく振動する。
- ●本体が異常に熱かったり、こげくさい臭いがする。
- ●その他の異常や故障がある。

▶ ご使用中止

このような症状のときは、故障や事故防止のため、電源を切り、コンセントから電源プラグを抜いて必ず販売店にご相談ください。

お客様の個人情報のお取り扱いについて

お受けしましたお客様の個人情報は当社個人情報保護方針に基づき適切に管理いたします。また、お客様の同意がない限り、業務委託をする場合および法令に基づき必要と判断される場合を除き、第三者への開示は行いません。

〈利用目的〉

お受けしました個人情報は、商品・サービスに関わるご相談・お問い合わせおよび修理対応のみを目的として使用させていただきます。

なお、この目的のために小泉成器株式会社および関係会社で上記個人情報を利用することがあります。

〈業務委託の場合〉

上記目的の範囲内で対応業務を委託する場合、委託先に対しては当社と同等の個人情報保護を実施させるとともに適切な管理・監督をいたします。

保証・無料修理規定

1. 取扱説明書、本体貼付ラベル等の注意書に従った**正常な使用状態で保証期間内に故障**した場合、**「無料修理」**致します。
2. 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には、**商品と本書をご持参ご提示の上、お買い上げの販売店にご依頼ください。**
3. **ご転居、ご贈答品等で**本保証書に記入してあるお買い上げの販売店に修理がご依頼できない場合には、取扱説明書の小泉成器株式会社「お客様相談窓口」へご相談ください。
4. 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
   （イ）使用上の誤りおよび不当な修理や改造による故障および損傷。
   （ロ）お買い上げ後の落下等による故障および損傷。
   （ハ）火災、地震、落雷、水害、その他の天災地変、異常電圧による故障および損傷。
   （ニ）一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車輌、船舶への搭載）に使用された場合の故障および損傷。
   （ホ）本書のご提示がない場合。
   （ヘ）本書にお買い上げ年月日、お客様名、販売店名の記入のない場合、あるいは字句を書き換えた場合。
   （ト）譲渡、転売、リサイクル店（中古品）、中古販売店、オークション等により入手された場合。
5. 保証期間内でも商品を修理窓口へ送付された場合の送料はお客様の負担となります。
6. 本書は日本国内においてのみ有効です。日本国外からの修理依頼や補修用部品・消耗部品の発送依頼には対応しておりません。
   Effective only in Japan.　We do not offer repair service or dispatch maintenance parts or consumables internationally.
7. 本書は再発行致しませんので、紛失しないよう大切に保管してください。

修理メモ

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によって保証書を発行している者（保証責任者）、およびそれ以外の事業者に対するお客様の法律上の権利を制限するものではありません。保証期間経過後の修理等についてご不明の場合は、お買い上げの販売店、または取扱説明書の小泉成器株式会社「お客様相談窓口」にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理について詳しくは取扱説明書の「アフターサービスについて」をご覧ください。

ハイブリッド加湿器
保証書 持込修理

本書は、本書記載内容（裏面記載）で無料修理を行うことをお約束するものです。
お買い上げの日から下記期間中故障が発生した場合は、本書をご提示の上、お買い上げの販売店に修理をご依頼ください。

型　番	KHM-5061	
お買い上げ年月日	年　月　日	
無料修理保証期間	対象部分	期間（お買い上げ日より）
	本　体	1　年

お客様	お名前	様
	ご住所	〒　TEL
販売店	店名・住所・電話	

見本

★販売店の皆様へのお願い　必ず全項目をご記入、ご捺印の上、お客様にお渡しください。

小泉成器株式会社　本社　〒541-0051　大阪市中央区備後町3丁目3番7号　TEL.06(6268)1423

お客様相談窓口

製品のお問い合わせ、修理に関するご相談、部品の購入に関するご相談は

お客様サポート
https://www.koizumiseiki.jp/support/
※上記のアドレスは予告なく変更される場合があります。

ナビダイヤル（全国共通番号）**0570 (07) 5555**

※ナビダイヤルがご利用いただけない場合　**TEL. 03 (3570) 6730**

■受付時間：平日9：00～17：00（土・日・祝日・夏期休暇・年末年始を除く）

小泉成器株式会社　〒541-0051 大阪市中央区備後町3丁目3番7号

2026年8月現在（所在地、電話番号などについては変更がある場合がありますので、その節はご容赦願います。）